

4 罪人

親父がおいらを仕込んだ夜

おいらのことなど頭をかすめもしなかった
空想の欠片かけらも働かさなかったってことよ
その後おいらが
こんな息子になるなんて

5

おいらを産み落とした日

お袋は ただ嬉しくて馬鹿騒ぎ
陣痛であんな酷い目むこに会わせた息子を
こんな息子を産んでおきながら
産んだってことで大喜びさ

10

お袋と親父

どこに消えちまったか
もう 金輪際見つかりっこ無いさ
おいらは独り
こんな高い舞台でブランコ往生ってわけよ

15

おいらのことなど忘れてほしいね

神様も忘れっちまった魂だ
せめて麻衣あさぎぬでも持ってきて
首に巻いてくれ
それで気持ちよくお陀仏しよう

20

これで一巻の終わりってことさ

そもそも始まりなど無けりゃ良かったんだ
親父とお袋
おいらはご兩人に似合いの息子ってことか
おいらに息子が恵まれなくて幸いだったよな

25